

## Stage9

### Shiver Me Timbers!

こいつはたまげた！

作・クリス・ポーリング

絵・ジョン・スチュアート

#### <読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話すといいでしょう。

・表紙と裏表紙を見ましょう。この本にどんなことが書かれているかヒントがみつかります。

・‘Shiver Me Timbers!’(こいつはたまげた！)という言葉について話してみましょう。どういう意味でしょう？ 違った人たちがこのような言い方をするのでしょうか？

・2-3 ページを見て、この本の登場人物を確認してください。どんな服装をしていますか？

・このお話の登場人物たちにどんなことが起こると思うか、お子さんにたずねましょう。

自分のスピードでこの本を読めばいいよと、お子さんにいつてあげましょう。

#### <ひっかかることば>

ここにあげるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

aboard (乗り物に)乗って

treasure 宝物

pirate 海賊

costume 衣装

dodging よけること

baffled 首をかしげた

rigging 索具

announced 告げた

#### [p. 1]

こいつはたまげた！

作・クリス・ポーリング

絵・ジョン・スチュアート

#### [p.2]

おはなしにでてくる人

ミルズ校長

ロング・ジョン・ルーシー

#### [p.3]

マックス

アント

タイガー

キャット

#### [p.4]

1 章——海賊祭り

「ようこそ、皆の衆」ミルズ先生がほほえみながら言いました。「新しいスクールバスのために、俺たちや、ありったけのお宝が必要だ。ヨーホーホー！」

<学園祭>

<……探し>

[p.5]

「ヨーホーホー？」キャットが言いました。「ヨーホー、ほーとんどムリ、ってことかしら。スクールバスはお金がかかるもの」

「これはただの開始の合図だよ、キャット」マックスはキャットに教えました。

「とにかく」とタイガーがニヤリとしました。「海賊祭りは、ふだんの夏祭りよりはるかに楽しいってことさ。賞ももらえるかもしれないしね」

<オウムのしっぽ福笑い>

<綿菓子屋台>

[p.6]

「わたし、海賊衣装コンテストで優勝したい！」キャットが言いました。

「ぼくも」アントが言いました。「でも、そんなにかんたんじゃないな。あっちもこっちも海賊の衣装だらけだもん」

「そうね、でも、みんなクズよ」と聞きおぼえのある声がしました。「最高の衣装を着た海賊は、あなたたちのすぐ後ろに立っているわ！」

[p.7]

キャットとアントとタイガーは不満気な大きな声をだしました。マックスでさえ、顔をしかめました。

「ルーシー！」マックスが言いました。

「ロング・ジョン・ルーシーよ」とルーシーは見下すように言いました。「わたしはここでいちばんかわいい海賊よ」

「海賊はかわいくなんかないよ！」とタイガーがバカにしました。

「この海賊はかわいいのよ」とルーシーは言いました。

[p.8]

ルーシーは金の巻き毛を振ってみせました。ルーシーはおそろしい目立ちたがり屋ですが、タイガーでさえルーシーがこの祭りでいちばんの海賊衣装だと認めないわけにはいきませんでした——。ルーシーの海賊の衣装は完璧でした。これほどの深紅の上着は見たこともありませんでしたし、これほど漆黒の帽子も見たことはありませんでした。木でできた義足ですら、本物そっくりでした。

ルーシーの優勝はまちがいありませんでした。

[p.9]

2章——おーい、船だぞー！

気を取り直すために、子どもたちは違う賞で優勝できるかどうか見にいきました。ルーシーは後をついてきました。

「船つり」の屋台のところに、海賊のプールがありました。真新しい、かっこいい海賊船の模型が、水の上でたくさんチャプチャプ揺れていました。

<船つり>

[p.10]

「おーい、きみたち、船乗りの仲間！」屋台の女性が言いました。「挑戦してみるかい？」

「うん、やらせて！」子どもたちは大きな声で言いました。

「わたしが最初よ」ルーシーがそう言って、割り込みました。

<宝探し>

[p.11]

「船をつれば勝ちよ」女性はそう言って、ルーシーに釣りざおを渡しました。

「ちよろいもんよ」とルーシーは言いました。

「ちよろくなくしてやろう」とマックスが小声で言いました。

[p.12]

マックス、キャット、アント、タイガーは屋台の裏に身をしのばせました。腕時計のダイヤルを回すと……

[p.13]

4 人のマイクロフレンズは、海賊船の浮かぶプールの端にあるホースに上りました。運よく、1 隻の船がすぐそばにありました。

「乗船！」マックス船長が叫びました。

[p.14]

3 章——こいつはたまげた！

子どもたちは模型の船の甲板におりました。船はゆらゆらと上下に揺れていました。マックスは船を操って、プールの側面から離れていきました。

[p.15]

ルーシーはすでに釣りざおで船を突いていました。

「気をつけろ！」マックス船長はプールの向こう側へと船の向きを変えながら叫びました。

「こいつはたまげた、相棒！」とタイガーは帆を風に合わせながら叫びました。

[p.16]

「くるぞ！」アントが叫びました。「おも舵(かじ)いっぱい」

「それってどっち側だ？」マックスがたずねました。

「右よ！」とキャットが大声で言いました。

マックスが舵輪を右に回して海賊船は右に向きを変えました。4 人は釣り針をかわしながらビニールプールのなかをあちこちに進路を変えつつけました。

[p.17]

ルーシーは釣りざおを水に突っこみつづけましたが、そのたびに船を逃していました。はじめのうちは首をかしげていました。それから、腹が立ってきました。ついに怒りだしました。

「これでどうだ、いまいましい船め！」と彼女は甲高い声で叫びました。

今度は本当にルーシーはたまげるほど船を震わせました。

[p.18]

甲板にしぶきがはねました。船はたてに揺れ、よこに揺れました。

「わたしたちを沈めようとしているのよ！」キャットが叫びました。

「しっかりつかまれ！」とマックスが怒鳴りました。

アントは索具にぎりしめました。キャットは帆柱にしがみつきました。

[p.19]

船は水のなかを高くもち上げられ、下に落とされました。マックスはベストを尽くして舵を操りました。

「もうこれ以上、つかまってられないよ！」アントが叫びました。

「気持ちが悪い」タイガーはうめきました。

[p.20-21]

そのとき、キャットにアイデアがひらめきました……

[p.22]

4 章——最高の海賊衣装

ミルズ先生が壇にあがりました。「それでは、海賊衣装コンテストの優勝者を発表します」ミルズ先生が告げました。「マックス、キャット、アント、タイガーの4人です！」  
「ぼくたち？」4人は息をのみこみました。  
「あの子たちが？」ロング・ジョン・ルーシーが金切り声を上げました。  
「そうです」ミルズ先生は言いました。「本物の海賊はきちんとした身なりなどしていませんでしたからね。海賊はあなたがたみたいにびしょ濡れで汚れていたのよ！」  
みんなからいっせいに拍手がわきおこりました。  
まあその、ほとんどみんなでした……深紅の上着を着て、漆黒の帽子をかぶり、木の義足をつけた海賊は、かんしゃくを起こすのに大忙しでしたから。  
<学園祭>

[p.24]

もっと知りたい人は……

本物の海賊はどんなことをしていたのか、どんなものを食べていたのか、どうやって敵の船に乗り込んだのか？ その答えや、もっといろんなことを *Pirates* を読んで見つけてみましょう。  
海賊のお話をもっと楽しみたい人には、*Nasty Nate's Pirate Adventure* がおすすめです。

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問を試してみましょう：

- ・ルーシーはどんな様子だったかな？ このお話のなかでルーシーは何をしだろう？ ルーシーのこと好き？
- ・マックス、キャット、アント、タイガーは、そうして海賊衣装コンテストで優勝したんだらう？
- ・本物の海賊について、どんなことを知ってる？
- ・この本を読んで、どんなふう感じた？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

海賊をテーマにして、おもしろいことがたくさんできます！ 海賊の帽子や衣装をいっしょにつくってみてはいかがでしょうか？

この本のシリーズの *Pirates* と *Blackbeard's Ship* の2冊の本を読めば、海賊や海賊船について、もっといろんなことがわかります。あるいは、図書館から本を借りたり、インターネットを使ったりしてもいいかもしれません。